



名 鍍 会 報 告

H28. 12

9月14日（水）に、名鍍会の9月度例会が鍍金会館会議室にて行われました。
 今回は、湯浅糸道工業株式会社様による「めっき槽用”浮き”のご提案」～メッキ液の温度管理とミスト防止策～という題目で、ご講演いただきました。



挨拶する二村会長

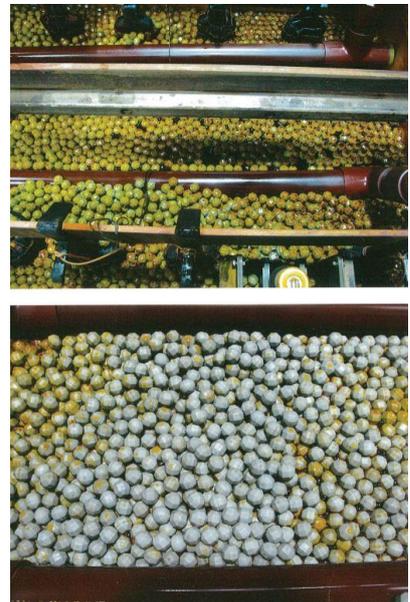


鍍金会館2階講堂にて

この”浮き”は、「ブイ」と呼ばれる塩ビ製で、20mm程の大きさの18面体物です。めっき槽の液面に敷き詰めて浮かべる事により、ミスト・ガス・悪臭を抑える効果があります。ブイは、湯浅糸道工業殿内の硬質クロムめっき槽内で使用されております。



湯浅糸道工業(株) 田中様



ブイ

従来は、PP製でボール状の浮きは有りましたが、めっき治具を槽から出す際に、PPボールも一緒に槽から出て、下に落ちて転がってしまうものでした。また排水溝等に落ちると、大変厄介だった様です。

このブイは、ボール状ではないので、落としても転がる事はありません。

ブイの材質面でも、従来のPP製の物は、約1年でヒビが入り槽内に沈む事もあったとの事ですが、塩ビ製では、クロムめっきにおいては耐薬品性が優れていて、割れる事が無い様です。寿命においても、PP製は1年でしたが、塩ビ製では約4年経過も劣化が無いという事です。

保温効果やミスト防止に役立つ省エネ・環境改善につながる製品かと思えます。

A. Y.